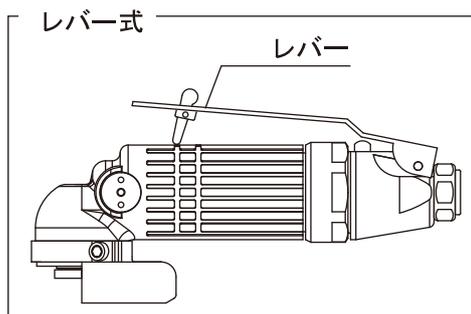
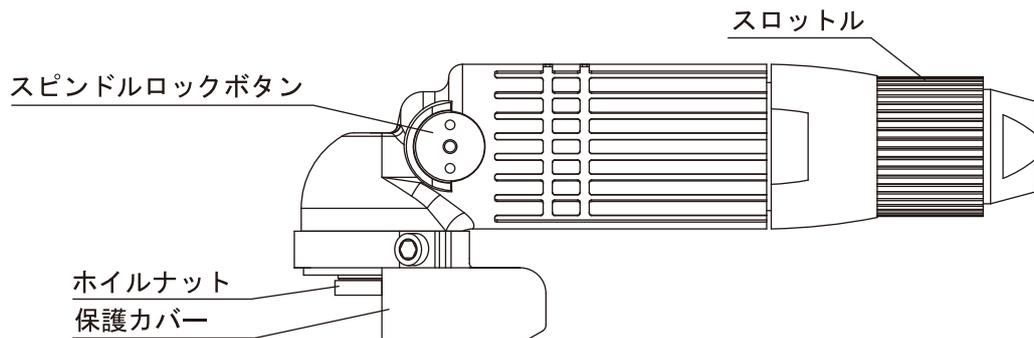


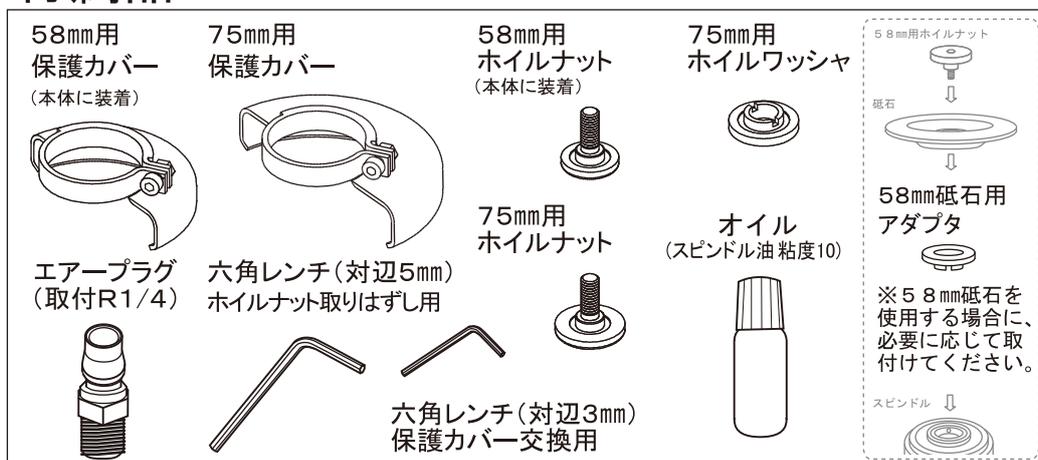
部品一覧・各部名称図



仕様

品番	スロットル式: GR-M58(75)KS レバー式: GR-M58(75)KL
砥石寸法	58 × 3.5 × 9.53 mm 75 × 5 × 9.53 mm
使用圧力	0.6 MPa (6 kgf/cm ²)
空気消費量	0.54 m ³ /min
無負荷回転速度	12,500 min ⁻¹
本体質量 <small>(58mm用保護カバー、 ホイールナット装着時)</small>	スロットル式: 0.54 kg レバー式: 0.59 kg
全長	160 mm
本体握り部分径	36 mm
スイッチ方式	スロットル/レバー
騒音	85 dB

付属品



※砥石径50mm以上の研削砥石を使用する場合、研削盤等構造規格第31条に基づいた適用除外を請けているので、必ずGR-M58(75)KS又はGR-M58(75)KLとミニスーパーグリーンもしくは、ミニスーパーブラックで使用してください。

※お断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

ご使用前に



警告

ご使用前に次のことを確認してください。1～5項については、本体にエアホースを取付ける前に確認してください。

1 使用空気圧力を確かめる

必ず本体に表示してある空気圧力でご使用ください。表示を超える空気圧力で使用すると危険な状態になり、砥石や本体が破損する恐れがあります。また、本体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2 スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにエアホースを取付けると不意に本体が起動し、思わぬ事故のもとになります。レバー及びスロットルがOFFの位置にあることを確認してください。

3 保護カバーの確認

保護カバーは砥石が破壊した場合に使用者を保護するためのものですので、必ず取付けてください。保護カバーは、小ネジを少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。調整後は、小ネジを確実に締付けてください。

注 保護カバーはサイズにあった適性なものを取付けてください。

4 スピンドルロックボタンの確認

スピンドルロックボタンを押して、離れたときに確実に戻ることを確認してください。

5 砥石の確認および取付け

砥石は正規のものか、またひび・われ・かけなどの外観の検査を行ってください。砥石は正規の状態に取付けられ十分締付けられているか点検してください。

6 試運転を行う

砥石にひび・われ・かけがあるのを気づかず作業しますと非常に危険です。必ず安全な場所で試運転を行い、異常がないことを確認してください。

■ 試運転時間

その日の作業開始前	1 分間以上
砥石を取替えた時	3 分間以上

注 ・本体のスイッチを入れるときは、回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
・新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、必ず砥石の露出部から身体を避けてください。

砥石の取付け・取りはずし



警告

取付け・取りはずしの前に、必ず本体からエアホースを取りはずしてください。

1. 取付け方

- ・ホイルナットは、必ず付属の工具を使って十分に締付けてください。
- ・75mm砥石を使用する場合は、必ず専用のホイルワッシャ、ホイルナットを使用してください。
- ・保護カバーはサイズにあった適性なものを取付けてください。
- ・砥石は当社規定のものを使用してください。

58mm砥石の場合

スピンドルを上に向け、砥石孔径と58mm用ホイルナット突出部を合わせてスピンドルへ取付けます。

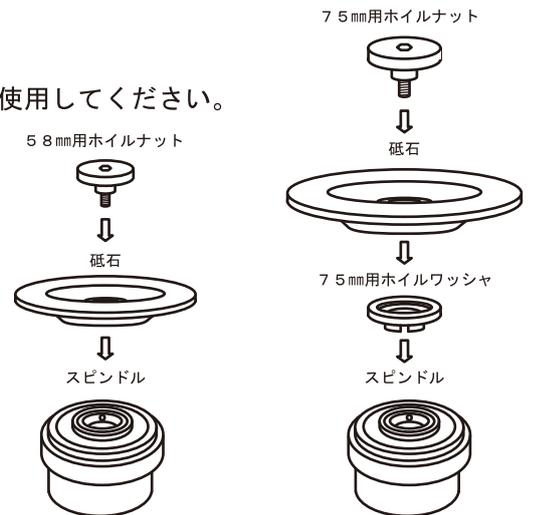
75mm砥石の場合

- 1 スピンドルを上に向け、付属の75mm用ホイルワッシャをスピンドルへ取付けます。
- 2 砥石孔径と75mm用ホイルナット突出部を合わせてスピンドルへ取付けます。

2. 取りはずし方

砥石を取りはずす場合は、上記の取付けと逆の手順に行います。

注 スピンドルロックボタンを押して離れたときに、確実に戻ることを確認してください。



【58mm砥石の場合】 【75mm砥石の場合】

別売品の取付け

- ・別売品を使用する場合は、各製品の取扱説明書に従い取付けを行ってください。
- ・別売品を使用する場合にも、安全のため保護具を使用してください。
- ・別売品を使用する場合は、各製品の最高使用周速度、または最高使用回転数を超過していないかを確認してください。超過していた場合は使用しないでください。

エア工具を正しく使うための重要事項

エア工具は、基本にそった使い方をしていただければ安全な工具です。しかし誤った使い方や不注意な取扱いをされますと、火災、感電、けがなどの事故につながります。安全作業のため下記項目を必ず守ってください。以下の基本ルールは、労働安全衛生規則・研削盤等構造規格に基づいています。



警告

誤った使い方をした場合、死亡または重傷をまねく恐れがあります。

1. 作業する場所は、明るくきれいに保ってください。散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 雨中や湿ったまたはぬれた場所で使用しないでください。引火、爆発の恐れのある場所で、作業を行わないでください。
3. 子供など作業員以外を作業場に近づけたり、エア工具やエアホースに触れさせないでください。
4. 使用しない場合は、乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
5. 安全に効率よく作業するために、無理な使用はせず、エア工具の能力に合った速さで作業してください。
6. 作業に合ったエア工具を使用してください。指定された用途以外に使用しないでください。
7. 髪や衣服、アクセサリなどが巻き込まれないような服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 作業中は安全帽・保護メガネ・防じんマスク・防音保護具（耳栓など）・防護手袋・安全靴などの保護具を着用してください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 取扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業してください。また、疲れているときは使用しないでください。
11. 少なくとも1日に1回は規定回転速度以上の回転が出ていないかをチェックしてください。
12. 騒音に関しては法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲に迷惑をかけぬよう規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、遮音壁などを設けてください。
13. 回転させたまま、台や床の上に放置しないでください。
14. この取扱説明書及び当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
15. ご使用前に必ず回転方向を確認してください。
16. 砥石などの回転部に手を触れないでください。
17. 運転中は、工具類や回転部などに手や顔などを近づけないでください。
18. エア工具や付属品は、その能力を超えて使用したり、急激な操作はしないでください。
19. 高い場所では下に人がいないことを確認してから作業してください。また、エア工具は安全で安定した場所に置くようにしてください。
20. 人や生き物などに向けてエア工具を作動させないでください。砥石などの付属品が飛ぶと、けがの危険があります。
21. エア工具にエアホースを取付けるときは、特にレバー及びスロットルがOFFの位置にあることを確認してください。それでもまだ砥石が回転する場合にはただちにエアを切って使用を中止し、点検してください。
22. 砥石を仮締めし、ホイールナットの接触面が均等に砥石にあたり、面振れがないかを確認してから本締めをしてください。
23. ホイールナットの接触面のサビ、異物が付着している場合は除去してください。また、接触面が磨耗または歪み等により正常に接触しないものは、新品と交換してください。
24. ホイールナットは締め過ぎないようにしてください。
25. エア工具を万力等で保持した使い方はしないでください。砥石が破損したとき、けがの原因となります。
26. 加工する物をしっかり固定してください。クランプや万力などを利用して加工物を固定してください。
27. エア工具は確実に保持してお使いください。始動時は特に注意してください。
28. 砥石の取付けは取扱説明書に従って確実に取付けてください。砥石を取付けた後、芯振れのないことを確認してください。芯振れが大きい場合は、作業中に砥石がはじき返されたり砥石が破壊したりすることがありますので危険です。
29. 砥石の取扱いは、「転がすな・落とすな・ぶつけるな」の3原則を守って、砥石への衝撃は避けてください。
30. 砥石は規定寸法および規定周速度のものを使用してください。砥石の取付け後は、砥石が確実に固定されていることを確かめてください。
31. 砥石は正しい使用面で研削してください。
32. 水・研削液を使用しないでください。
33. 保護カバーを取りはずしての使用は絶対にしないでください。砥石が破壊したときけがの原因となります。
34. 外観検査、打音検査を行い、砥石にひび・われ・かけなどの異常がないことを確認してから使用してください。砥石に亀裂があると大変危険です。
35. 砥石などの付属品の取付け・取りはずしの前に、必ずエア工具からエアホースを取りはずしてください。
36. 作業開始前の1分間の試運転と、砥石取付け後の3分間の試運転を必ず行ってください。この間に振動または異常音があった場合はただちにエアを切り、使用を中止し点検してください。
37. 研削砥石に関する安全講習（特別教育）を受けないで、砥石の取替え・試運転を行わないでください。
38. 不必要な無負荷運転はしないでください。
39. エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし、爆発の危険を伴います。

【レバー及びスロットルの操作】

1. 作動させるときはスロットルを徐々にON側に回すか、レバーを本体側に徐々に押してください。急激な加速操作は、砥石に衝撃を与え、ひび・われ・かけなどの異常がある場合、砥石が破壊しけがの原因となります。
2. 停止するときも、スロットルを徐々にOFF側に回すか、レバーを徐々に戻してください。急激な減速操作は、ナットのゆるみの原因となります。



警告

誤った使い方をした場合、死亡または重傷をまねく恐れがあります。

1. 作業前、作業後はエアフィルタやコンプレッサ内の水抜きを必ず行ってください。圧縮空気中の水分が多くなるとグラインダの回転速度が規定以上に上昇することがあり危険ですので、水分を除去する設備が必要です。また、冬季には、空気通路やグラインダの排気口に水分が凍結し、能力が低下しますので注意してください。
2. レバーに手をかけて持ち運ばないでください。機械が不意に回転すると危険です。
3. エアホースを持って工具を運ばないでください。エアホースは鋭利な角に接すると切れやすいので注意してください。
4. エア工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはニューレジストン株式会社に修理を依頼してください。
 - ・継ぎ（延長）ホースを使用する場合は、定期的に点検し損傷している場合は、交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
5. 次の場合は、エア工具のスイッチを切り、エア工具からエアホースを取りはずしてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・砥石などの付属品を交換する場合。
 - ・その他、危険が予想される場合。
6. スwitchを入れる前に、調節に用いた工具類が取りはずしてあることを確認してください。
7. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・スイッチで始動及び停止操作のできない工具は、使用しないでください。
8. 部品の交換の際は、必ず指定された部品を使用してください。
9. このエア工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。修理は、必ずお買い求めの販売店またはニューレジストン株式会社にお申し付けください。

保守・点検

1. 各部取付けネジの点検

各部取付けネジでゆるんでいるところがないか定期的に点検してください。

2. エア工具の点検・整備・保管

- ・ゴミ、異物などの侵入は故障の原因となりますので、使用後は元コックを止め、本体からエアホースを取りはずし、本体内にゴミが入らないように注意してから保管してください。
- ・作業前、作業後は本体の給気口よりオイルを2～3滴注油し、2～3秒の空回転（無負荷回転）を2～3回行ってください。また、長時間作業の場合は途中でも注油してください。
- ・作業前、作業後はエアフィルタやコンプレッサ内の水抜きを必ず行ってください。
- ・修理・分解はご自分でなさらず、お買い求めの販売店またはニューレジストン株式会社フリーダイヤルまでご連絡ください。

3. 本体や付属品の保管

本体や付属品の保管場所として、以下の条件を避けて保管してください。

- × 子供の手が届く場所
- × 直射日光の当たる場所
- × 雨がかかったり、湿気のある場所
- × ガソリンなどの引火物がある場所
- × 温度が急変する場所
- × 落下の恐れのある場所

配管

1. 3点エアセット（フィルタ・レギュレータ・オイル）は、必ず1セット取付けてください。3点エアセットを使わないと、コンプレッサ内の水分やゴミが本体内に入り、サビや磨耗が発生して故障の原因になります。また、3点エアセットから本体までのエアホースが長すぎると、空気圧力や流量の低下となりますので注意してください。
2. 購入後、最初にエア工具を取付けるときや、エアホースを取替えたとき等は配管内やエアホース内のゴミを十分に除去してから取付けてください。
3. 配管は右記配管参照図を参考としてください。

